



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

個人的見解で当選認める発言

ボルソナロが頑なに認めぬ中

アマゾン・モウロン副大統領は13日、ジョー・バイデン氏が米国の大統領選を制し、次期大統領になることに...

アマゾン問題でも見解は真逆

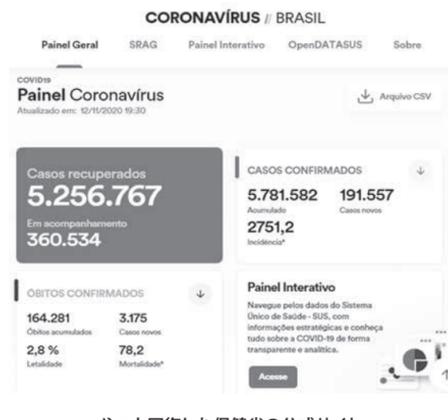


モウロン副大統領 (Fabio Rodrigues Pozzebom/Agencia Brasil)

この発言は13日午前モウロン氏が南大河州のラジオ局「ラジオ・ガウシャ」のインタビューに...

コロナ禍 8日間で感染者が19万人増
医療現場の実感裏付ける

保健省が12日、8日ぶりに新型コロナウイルスの統計に関する公式サイトを更新した。12日の現在の感染者は4日比で19万1557人増の57万8158人...



死者は減少傾向を維持
保健省のシステムは4日の更新後に不安定になり、複数の州の保健局...

が逆転し、さらにバイデン氏が勝利した州から最低21人の選挙人を減らす、つまり、2州分の結果を逆転させなければならぬ。だが、それを可能とするようなバイデン氏側の不正の報告は行われていない。

アマパー州 各地で暴動起き、選挙も延期

3日から大停電が続くアマパー州では、州民の怒りがピークに達し、各地で暴動が相次いでいる。13日付付紙「サイト」が報じている。

東西南北

明日15日はいよいよ統一地方選の投票日だ。投票所に人が群がることでコロナウイルスの感染を気にする人も少なくはない。

銀リセッション脱出を予想
景気の回復は緩やかとも

中銀の13日の発表によると、第3四半期の経済活性化指数(IBC、Br)は136.34ポイントで前期比で9.47%成長し、リセッション(景気後退)は2期限りで脱出と同日付付紙「サイト」が報じた。

国内では、マスク着用や社会的隔離などを呼びかける感染拡大防止キャンペーンを実施を検討している。また、大量のウイルスが体内に入った場合は微量の抗体を繰り返す。

大統領罷免後に連日デモ
不人気の国民議会に反発
9日に国民議会によって行われた大統領の罷免を不服とし、大統領は国内を巡り、抗議デモが行われ、国が揺れている。

選挙に伴い、15日はサッカーの全国選手権が行われる。その代り、14日、15日の試合が行われる。聖州4強の試合はすべて14日で、コリンチャンスがアトレチコ・ミネイロ、サンパウロがフラタレシザ、パルメイラスがインテルナシオナルと戦う。

アマパーでの暴動 (Twitter)
だが、これには格差があった。アマパー電力公社(CAEMA)は7日、連邦政府から発電機を得るなどして行われた復旧作業の結果、65%ほど電力が回復したと発表している。

だが、この罷免は、国民の同意を得ておらず、かねてから不評だった。世論調査では75%の人がバイデン氏に支持を投じている。国民の59%は議会を支持してない。デモは罷免翌日の10日からはじまった。中心となっていたのは首都リマ、メリノ暫定大統領も、平静になるよう、国民に求められている。

San Paulo Japanese Consulate, Santa Cruz Hospital, and various Japanese consulates in Brazil with contact information.

JICAが大型スキャナー貸与

邦字紙デジタル化等推進に 山下委員長「本当にありがたい」

日本移民資料保存のために、JICAブラジル事務所(佐藤洋史所長)からドット製図面製本スキャナIOS12000が、ブラジル日本移民史料館(山下リシア玲子運営委員長)へ貸し出される「貸与式」が10月28日に聖市の文協ビル内で行われた。

スキャナーの前で記念写真(右から2番目が山下リシア運営委員長)



佐藤所長は「JICAの連携支援を行っており、以前から日系移民史へ史料の収集や保存、展示は以前から日系移民史へ史料の収集や保存、展示



使用説明を聞く石川会長

にも協力してきました。今回、貸与したこのスキャナーを使ってブラジル日本

人移民の功績を後世に遺していただきたい。はそ

同館は現在、国内の日本移民史料館とのネットワークを強化し、各所に散財する関連史料を把

握り共有するために、各館担当者との連携を強めている最中だ。史料の中

でも印刷物は劣化が激しく、現物に触れなくてもデジタル化することが喫

緊の課題となっていた。中でも邦字紙や大判の雑誌などはサイズが大き

く、市販のスキャナーではデジタル化が不可能だ

た。今回の高価な大型高性能スキャナー、ようやくそれができるようになる

JICAはこの機材を5年間貸与するという。同史料館には1916年にブラジル初の邦字紙

「週刊・南米」に始まり、現在にいたる莫大な量の日本語新聞や雑誌、刊行物が収蔵されている。一部

はすでにマイクロフィルム化されているが、読みづら

検察庁が性犯罪容疑で起訴 瞑想療法のカドモト氏を

複数の女性に性的暴行を働いたとしてカドモト・タタシ氏が起訴され、先月にサンパウロ州検察庁が受理したと伯国内メディアが連日報道している。

カドモト氏は、昨年10月にカドモト氏の経営する治療院に性被害者治療院に就いてきたという女性が、

「求める味は日本のコーヒーのような柔らかい味」と語る石川さん

「ブラジルの一般的なナスは高品質な商品は販売してパーでは、割高になる

「外出自粛中の楽しみはおいしいコーヒー」という人は少なくない。産地直送のカフェ・ファゼン

「ドリップ・コーヒー」(1箱10パック入)が加わった。

「家族等、その他の就労先については、30年の実績を持つアスピ社までお問い合わせください。」

【ASPI人材情報センター】
住所: Rua dos Estudantes, 15-6º andar - Sala 61 - Liberdade - São Paulo - CEP: 01505-001
E-mail: asp.rh@hotmail.com
電話: 011-3277-1121 / 94851-6952 (WhatsApp)

20年以上高知県人会の副会長や書記などを担ってきた。丹山俊一

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

上品なパッケージから漂う香ばしいコーヒー豆の香り。「用意する時

「求める味は日本のコーヒーのような柔らかい味」と語る石川さん

「ブラジルの一般的なナスは高品質な商品は販売してパーでは、割高になる

「外出自粛中の楽しみはおいしいコーヒー」という人は少なくない。産地直送のカフェ・ファゼン

「ドリップ・コーヒー」(1箱10パック入)が加わった。

「家族等、その他の就労先については、30年の実績を持つアスピ社までお問い合わせください。」

【ASPI人材情報センター】
住所: Rua dos Estudantes, 15-6º andar - Sala 61 - Liberdade - São Paulo - CEP: 01505-001
E-mail: asp.rh@hotmail.com
電話: 011-3277-1121 / 94851-6952 (WhatsApp)

20年以上高知県人会の副会長や書記などを担ってきた。丹山俊一

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、



新品『ドリップ・コーヒー』



アリアンサ農園を歩く石川レナトさん

「外出自粛中の楽しみはおいしいコーヒー」という人は少なくない。産地直送のカフェ・ファゼン

「ドリップ・コーヒー」(1箱10パック入)が加わった。

「家族等、その他の就労先については、30年の実績を持つアスピ社までお問い合わせください。」

【ASPI人材情報センター】
住所: Rua dos Estudantes, 15-6º andar - Sala 61 - Liberdade - São Paulo - CEP: 01505-001
E-mail: asp.rh@hotmail.com
電話: 011-3277-1121 / 94851-6952 (WhatsApp)

20年以上高知県人会の副会長や書記などを担ってきた。丹山俊一

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、

「異変が起きた」と振り返り、丹山俊一は「賑やかで明るく、面倒見の良いひとでした」と振り返り、



中島宏 (75)

喜び勇んで湿地帯の開拓に挑んで、米作を実施していった移民たちは、その一部にブラジル人たちが誰一人住んでいないことに気が付くこともなく、そこに疑問を感じることもなく一切なかった。ここに入植した日本人たちは、競争のようにこの湿地帯に家を造り、そこに住み着いていった。そして、そのことが結果として致命的なものとなった。そして、その開拓が始まった年の翌年、一九一六年に入って間もない一月に異常事態が表れ始める。

稲そのものの成長は非常に良く、この土地での米作の選択は間違っていないことが証明されるような結果が出始めていた。作物そのものには何の問題もなかった。この状況ではまず、大成功といえる収穫と成果が上がるはずであった。

本格的な雨季の到来となったこの一月前後は、一年でも最も雨量の多い時期である。そして、まるでこの時期に合わせるようにして、人々がバタバタと倒れ始めたのである。高熱が急に出て、震えの症状が止まらなくなり、嘔吐を繰り返して、下痢症状が出、体力の消耗が激しくなり、急速に衰弱していく。

日により、あるいは時間帯によっては一時的に微熱程度に下がりますが、時間が経つとまた高熱がぶり返し、コントロールが効かなくなる。その症状を交互に繰り返していく間に衰弱が激しくなると、驚くほどの短期間に命を落とすという状況が連続的に起きていった。

このときまで、平野植民地の日本人はマラリアという病気を知らなかった。

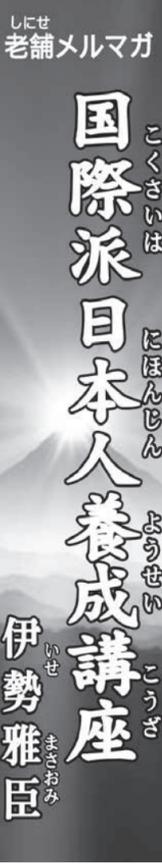
熱帯、亜熱帯に発生するこの病気は、病原体がマラリア原虫と呼ばれるもので、ハマダラカという蚊を媒介して人間に感染する。このマラリア原虫は低地の湿度が高い所を好み、特に高温多雨の夏の環境下では猛烈な勢いで繁殖を繰り返して、同じような時期に発生するハマダラカの増殖に便乗し、一気にその数を増やしていく。

低地帯、それも特に湿地帯が危険とされ、ブラジルの人々がそこに近づこうとしないのは、その経験からマラリアの恐ろしさを十分に知っていたからである。伝統的に彼らは低地帯や湿地帯近くには住まない。彼らにとってそのことは、死に繋がることを意味していたのである。

平野連平たちが、勢い込んで湿地帯を開拓していったとき、日本人たちは誰もこのマラリアの病気のことは知らなかったし、その存在すら想像していなかった。悪いことに、この場所での作物が期待以上の出来映えであったために、彼らは驚喜し、さらに多くの入植者をグアタパラ農場から呼び寄せた。

そして、このマラリアの症状が開始されたときは、すでに八十家族以上の人々がここに転住して来ていた。結果として、ここに入ったほとんどの家族が犠牲者を出すという最悪の事態になつていったのである。皮肉なことに、それらのことはすべて米作を目指したところによるものであった。

この年、一九一六年の一年だけで、平野植民地ではマラリアで八十人あまりの犠牲者が出た。しかも、それは収まるどころか、ますます死者が増え行くという傾向を辿った。平野は、その原因がマラリアだと分かっているから、唯一の薬であったキニーネを求めて、あちこちの町を奔走したが、当時はそれほど簡単に手に入るものではなかった。



国際派日本人養成講座 伊勢雅臣

生きる力を引き出す授業(下) 国語を通じて生徒は「共に生きる力」を伸ばしていく

1. 「たつみ」とは どの方向ですか？

1冊の薄い文庫本を中学の3年間で読み上げる、という聞いたこともない国語の授業のやり方に、初めは「大丈夫なんだろうか？」と顔を見合わせていた生徒たちも、2週間もするとその心配が杞憂であることに気がついた。

2. 「国語が好き」が 5%から95%に

橋本先生は毎回、刷り上がったばかりの研究ノートのプリントを抱えて教室に現れる。その量が多くて、両手一杯に抱えて登場すると、クラス全員で拍手して迎えることもあった。

3. 「壁を階段にする力」

橋本先生は「国語はすべての教科の基本です。『学ぶ力の背骨』なんです」と言っています。

4. 前に進むとどうなるか？

この「壁を階段にする力」こそが、橋本先生が「銀の匙」の授業で、生徒たちに授けた力なのだろう。

5. 「還暦過ぎても、みんな前を向いて歩いている」

前号「A」では「銀の匙」授業を受けた二人の卒業生が、フランスに留学して、アフリカ諸国で海外経済協力基金の一員として活躍した中野邦夫。

6. 他と共に生きる力

橋本先生の授業で、もう一つ特徴的なのは、何かとグループで学習させることである。

7. 古人と共に生きる力

「他と共に生きる力」とは、同時代人だけではなく、古典を読むことで古人たちと心を通わせ、その知恵や経験を使わしてもらうことでもある。

8. 真の「心のゆとり」とは

橋本先生の「銀の匙」授業は、従来のゆとり教育のどこが間違っていたかを如実に示している。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

国語はすべての教科の基本です。「学ぶ力の背骨」なんです。

う思ったのだろうか。心のゆとりとは安易に実現できるものではなく、がんばって、がんばって上り続けなければ到達できない精神の高みの世界である。高い山に登った時、頂上で感じるあのゆとりとした満足感こそ心のゆとりである。[2, P109]

「ゆとり」ではなく「ゆるみ」である。クラスの皆でわいわい言いながら一生懸命勉強して、「平常の力」を出せば、東大なんてへっちゃらだ」と言う生徒たちこそ本当の「ゆとり」を表している。

あるいは月を見てはフランス人に「天の原ふりさけみれば」の歌を聴かせたり、還暦を過ぎてからワンダの大使をするのも「ゆとり」ある生き方である。

橋本先生の「銀の匙」授業は、我が国の教育や社会のあり方に重要な示唆を投げかけている。

「銀の匙」のような授業に出会えなかった生徒たちも、あるいはすでに社会に出た人々でも、国語力を通じて生きる力を伸ばす手立てはある。自分の興味あるテーマについてとことん追求すること。それを周囲の人々に語っていくこと。

「A」 JOG(898) 生きる力を引き出す授業 (上) 伝説の国語教師 橋本武二 一緒に「銀の匙」を読んだ生徒がねえ、還暦過ぎても、みんな前を向いて歩いている。それが何よりも嬉しい。

「B」 JOG(318) 国語の地下水脈 日本人の感性を磨いてきた名文を暗誦すれば、生きる力が湧いてくる。

「C」 JOG(553) 国語の品格 品格ある国語は、品格ある国民を作る。

「参考文献」 伊藤氏「奇跡の教室 エチ先生と「銀の匙」の子どもたち」 ★★ 小倉館、H22 ★★ 黒岩祐治「灘中 奇跡の国語教室」 橋本武の超スローリーディング ★★ 中村新書ラクレ、H23

「木川」が結んだ母娘の絆 生き別れの米女性、映画に 人以上にいとみられる。木川教授は「養子縁組を結び、米軍で育てる雰囲気があったのではないかと話す。」

【共同】戦後の混乱期に日本で生まれた米国人女性が、生き別れた日本人の母親を捜す様子がこのほどドキュメンタリー映画になった。協力したのは和歌山大観光学部の本川剛志教授(44)。

「共同」日本酒の特産化を目指す北海道東川町で7日、全国的に珍しい公設民営の酒蔵がオープンした。岐阜県中津川市から移転した老舗「三千桜酒造」が委託を受け、今月から生産を始める。式典で山田耕司社長(61)は「みんな良い酒を造っていきなさい」と抱負を語った。

公設民営の酒蔵オープン 特産化を目指す北海道東川町 式典で山田耕司社長(61)は「みんな良い酒を造っていきなさい」と抱負を語った。

酒蔵は2階建てで延べ694平方メートル。見学可能で、観光施設としても活用する。建設費約3億5千万円は国の交付金や三千桜酒造が約5千万円を負担するなどして賄った。

「共同」戦後の混乱期に日本で生まれた米国人女性が、生き別れた日本人の母親を捜す様子がこのほどドキュメンタリー映画になった。協力したのは和歌山大観光学部の本川剛志教授(44)。

「共同」日本酒の特産化を目指す北海道東川町で7日、全国的に珍しい公設民営の酒蔵がオープンした。岐阜県中津川市から移転した老舗「三千桜酒造」が委託を受け、今月から生産を始める。式典で山田耕司社長(61)は「みんな良い酒を造っていきなさい」と抱負を語った。

酒蔵は2階建てで延べ694平方メートル。見学可能で、観光施設としても活用する。建設費約3億5千万円は国の交付金や三千桜酒造が約5千万円を負担するなどして賄った。

PDF版紙面 スマホ・PCで 新聞を読む 好評配信中

国際派日本人養成講座 発行人=伊勢雅臣(文責) Mail: ise.masaomi@gmail.com

NY冬の伝統行事中止続く

娯楽の中心コロナで空洞化

サンタもオンライン

【ニューヨーク共同】松尾聡志 街中にきらびやかな装飾があふれ、歩だけで心が躍る冬のニューヨークの情景が今年は見られず、新型コロナウイルスの再流行で感謝祭からクリスマスまでの休暇期間の伝統行事の中止が相次ぎ決まった。流行や娯楽の中心地の空洞化が鮮明に、百貨店は子どもたちがオンラインでサンタクロースと交流できる場をつくる。

百貨店大手メイシーズは10月22日、映画「三十四日目の奇蹟」の舞台となったニューヨーク市中心部の主力店が長年続いていた催事「サンタランド」の中止を発表した。サンタランドには、リリーやおもちゃが迷路のような空間に所狭しと飾られ、子どもたちがサンタの膝に乗って記念撮影できる場所だ。

約1カ月の開催期間中に25万人以上が訪れた「聖地」として知られるが、今年は高齢のサンタや顧客の感染防止を優先した。その代わりにサンタとの自撮りなどができるサイトを開設する。

メイシーズは11月下旬の感謝祭の祝日に開催された恒例のパレードの中止も決定。観客を入らず、事前収録した動画を26日の感謝祭当日にテレビで放送する。テルセロ副社長は「魔法

のような体験を今年はバーチャルで再現する」と意気込むが、書き入れ時の店舗や周辺で目玉イベントを開けないのは打撃だ。

新型コロナウイルスは新型の陽性率が上昇し、6月以降の高水準となっている。入院者数や死者の数も増加傾向だ。危機的な状況が再び迫っており、公立学校が一時閉鎖される可能性も取り沙汰される。デラシオ市長は「第2波を止める最後のチャンス」と訴える。

米メディアによると、郊外にある大型商業施設の多くはサンタと会える行事を計画している。透明の板で仕切り、来場者との距離を取るなど非接触型のサービスが導入されるといわれる。

ニューヨーク市は新型コロナウイルスの陽性率が上昇し、6月以降の高水準となっている。入院者数や死者の数も増加傾向だ。危機的な状況が再び迫っており、公立学校が一時閉鎖される可能性も取り沙汰される。デラシオ市長は「第2波を止める最後のチャンス」と訴える。

中国、新領域で軍備拡大

軍民融合も、防衛研報告

【共同】防衛省のシンクタンク防衛研究所は13日、中国の軍事動向を分析した「中国安全保障レポート2021」を公表した。宇宙やサイバー空間、電磁波といった新たな領域で軍備拡大の動きを強めていると指摘。民間企業の先端技術開発を軍事分野に応用する「軍民融合」を推し進め、安

全保障上の懸念を深める。欧米諸国と摩擦を引き起こしている。11回目の今回は「新時代における中国の軍事戦略」をテーマに掲げた。今世紀半ばまでに中国の軍民融合を「世界一流の軍隊」とする中長期的な目標の実現に向け、習近平国家主席が科学技術

宇宙では「人民解放軍による作戦領域の拡大に伴って重要性が増している」と明記。363機の衛星を使って、陸海空軍の作戦を情報面で支援するシステムを運用するだけでなく、他国の宇宙利用を妨害するため、衛星と地上管制施設との通信を妨害する電子妨害兵器の開発を進めていると批判した。

米「台湾は中国でない」

国務長官、圧力にけん制

【ワシントン共同】ポンペオ米国防長官は12日の米保守系ラジオ番組での発言で「台湾は中国の一部ではない」と述べ、米政府の立場を再確認した。また台湾への米軍兵器売却の必要性も強調した。台湾を「中国の一部」と主張して圧

力を強める中国をけん制する狙いがあるとみられる。中国が反発する可能性がある。ポンペオ氏は、レーガ

ン政権が対台政策に関する六つの外交指針を記した1982年の文書に基づき立場だと説明。米在台協会(AIT)によると、文書は台湾の主権に関する米国の立場は変

わらないことや、台湾への武器売却終了の期限を設けないことなどを台湾に保証する内容となっている。台湾外交部(外務省)の報道官は13日、ポンペオ氏の発言に謝意を表明して「台湾は主権を有する独立国家。中華人民共和国の一部でないことは事実であり、現状だと

表明した。ポンペオ氏は5日記者団に「正當な要求を集計すれば、私の楽勝だ」と一方、左の語に「公の場で発言していない。米メディアによると、裁判で勝敗をひっくり返す見込みが薄いことは理解しているが、負けを受け入れた兆候はない。敗北宣言の代わりに、次期大統領選出馬を表明すると観測も強まっている。

最大野党USD Pの獲得議席は25にとどまり、USDPは不正があったと主張、結果の受け入れを拒否し、再選挙の実施を求めている。組閣権限のある大統領は、上下両院合同議会で選出される。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大規模集会が禁止されるなど選挙運動は大幅に制限された。NLDはコロナ対策の指揮を執るスティーチー氏が前面に出る「真の民主主義を実現する」と訴えていた。

ミャンマーで迫害を受けているイスラム教徒少数民族民族ロヒンギヤは不法移民と与えられていない。選挙権が与えられていない。ロヒンギヤ問題は今回の総選挙で争点にならなかつた。

不明の選挙不正に関する投稿を続け、感染が急増する新型コロナウイルス対応に取組む様子も目撃された。バイデン前大統領の当選が確定した。14日、1週間になる。政権移行手続き拒否を批判する声が共和党内から公然と出始め、亀裂もあらわになってきた。

国家安全保障省傘下のセキョリテイ関連委員会は12日の声明で、今回の選挙は「米史上最も安全だった」と強調し「根拠のない主張や誤情報があるが、公正に最大限の自信を持っている」と表明。ポンペオ氏の不正主張の角が崩れた。

ポンペオ氏は5日記者団に「正當な要求を集計すれば、私の楽勝だ」と一方、左の語に「公の場で発言していない。米メディアによると、裁判で勝敗をひっくり返す見込みが薄いことは理解しているが、負けを受け入れた兆候はない。敗北宣言の代わりに、次期大統領選出馬を表明すると観測も強まっている。

最大野党USD Pの獲得議席は25にとどまり、USDPは不正があったと主張、結果の受け入れを拒否し、再選挙の実施を求めている。組閣権限のある大統領は、上下両院合同議会で選出される。

実力者御嶽、初の連勝

V圏内、意地の見せどころ

【共同】鈴木 大関の座を射止めた朝乃山。正代の陰に隠れ、今年も存在感が薄くなっているが、御嶽海。開場以下は最多タイとなる2度の優勝を誇る実力者。元氣な隠岐の海を退けて今場所初の連勝とし「調子は悪くない」と淡々と口調ながら、手応えを立ち合いで鋭く当たって左をのぞかせ、素早く右を巻き替えても差は左おつつけにも動かせない。体をうまく密着させ、低い重心で寄り切った。巧みな相撲を披露し「しっかりと膝を曲げて取ろうと思った。うまく取れた」と自賛した。

新三役昇進は2016年九州場所、貴景勝朝乃山、正代の3大関も先行した。早くから大関候補と呼ばれ、18年名古屋場所と19年秋場所を制して機運を高めた。だが昇進のチャンスをつかめず、3人に相次いで追い抜かれた。足踏みが続く状況に対し、もどかしさを感じている。どかしの八角理事長(元横綱北勝海)「優勝よりもっと上を目指さなきゃいけない。大関、横綱がある」と奮起を促した。

2横綱大関が不在で寂しさが増す一年納め土俵は、御嶽海にとって意地の見せどころだ。トップとは2差ながら十分に優勝圏内での「このまま白星につなげていきたい」

【共同】3冠の看板をひびき、ソフトバンクの千賀がポストシーズン初戦のマウンドへ向かう。パ・リーグでは2006年の斉藤和巳(ソフトバンク)以来となる最多勝。最優秀防御率、最多奪三振の3タイトルを獲得し、キャッチボールなどで最終調整を終えたエースは「(1勝の)アドバンテージもあるし、最初の試合を取ったら大きい」という。右投手は67で回るなど仲はゆるい条件がそろった。

ただ、不満を漏らしながらの好成績は珍しい。今松山。第2日以降へ「今日みたいな粘り強くて素晴らしい」とも話した。2011年に初出場し、ベストアマチュアに輝いた思い入れの強い大会で、自身初めの60台は予選ラウンドの60台はトルを遠ざけてきた「出場を遅れ」を回避できたのは大きい。

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

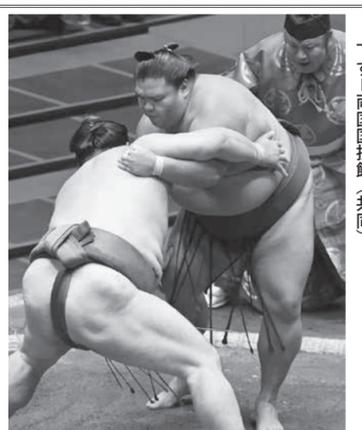
【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ

首相、バッハ氏と16日会談

五輪開催で協力確認へ

【共同】首相官邸は13日、菅義偉首相と五輪開催で協力確認へ



隠岐の海(手前)と攻め合う御嶽海。寄り切りで下す。両国国技館。共同

PDF版紙面 スマホ・PCで 新聞を読もう 好評配信

オンライン 日本移民シンポジウム初開催

オンラインで開催された「ブラジル日本移民シンポジウム」の協賛団体



「日本文化の継承への課題」等 原田清弁護士ら熱く討論

最初にKIFブラジルの村上パトリシア会長が開会の挨拶をし、出席者を紹介した。当日のモデレーターは原田清弁護士、パネリストには原田清弁護士主催の「日本移民史論文コンクール」第1回(2018年)優勝者の栗田クラウジオ氏が自分の論文「ブラジル日本移民の要因と結果」について、第2回優勝者のカワセ・アレキサンデレ氏が「日本文化の継承への課題」について語った。

ゲストには上田雅三氏(STJ=連邦高等裁判所の元判事)、吉岡黎明氏が招かれた。楠彰在聖領事館首席領事が挨拶し、「論文を書くという行為は、日本文化に対する深い理解を醸成するすばらしい機会だと思ふ。次の世代がこの豊かな歴史への関心を深め、それを継承することに期待する。原田氏の取り組みに賛同する。若者たちの取り組みとそれに対する協力者の皆さんに祝福を送りたい。このライブ映像がブラジル全体の若者に見られることを期待したい」と祝福を送った。

ブラジル日本文化福祉協会の石川レナト会長は「日本移民史を継承し、広めることは重要。原田清氏のリーダーシップに敬意を表した。文協は今年65周年を迎える。この取り組みが他の行動に広がることに期待したい」と語った。

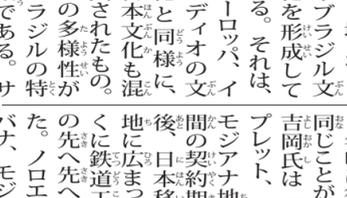
外務省研修生OB会の上原テリオ会長も挨拶し「日本移民をテーマとしたこのイベントに関心をもちて参加するすべての若者を祝福したい」と温かい賛辞を送った。



KIFブラジルの村上パトリシア会長



文協の石川レナト会長



外務省研修生OB会の上原テリオ会長

日伯が融合した日系ブラジル文化

ゲストの上田雅三氏は次のような基調講演をした。「このイベントは移民112周年を記念し、コミュニティの将来を模索するもの。ブラジルの大地にしっかりと根ざしたものである。1908年6月18日、最初の笠戸丸移民がサントス港に上陸したときは、サンジョ

の祭りで、花火がたくさん打ち上げられていた。それを自分たちへの歓迎の証と移民たちは勘違いしていたのだと紹介した。さらに監察官(インスペクター)が、アマゾン・ソブラルがレイヨ・パウリスターノ紙に寄稿した次のような感想文を紹介した。

「52日間の航海を経て、最初の日本移民が到着した。その船を検査したとき、その清掃が行き届いた様子に感銘を受けた。皆庶民的な出自の様子にもかかわらず、きちんとした洋装をしており、男はネクタイをしていた。清潔さをもち、他の移民とは明らかに違う様子に強い印象を残したとある。これは、サッカーW杯の際、日本人サポーターたちに通底したものがある」と上田元判事は指摘。「この日本人性、市民性という共通性を我々も忘れてはならない」と説いた。

今では200万人にも増えて日系ブラジル文化を形成している。それは、ヨーロッパ、インドイオの文化と同様に、日本文化も混交されたもの。この多様性がブラジルの特徴である。サ

アンに祭りで、花火がたくさん打ち上げられていた。それを自分たちへの歓迎の証と移民たちは勘違いしていたのだと紹介した。さらに監察官(インスペクター)が、アマゾン・ソブラルがレイヨ・パウリスターノ紙に寄稿した次のような感想文を紹介した。

「52日間の航海を経て、最初の日本移民が到着した。その船を検査したとき、その清掃が行き届いた様子に感銘を受けた。皆庶民的な出自の様子にもかかわらず、きちんとした洋装をしており、男はネクタイをしていた。清潔さをもち、他の移民とは明らかに違う様子に強い印象を残したとある。これは、サッカーW杯の際、日本人サポーターたちに通底したものがある」と上田元判事は指摘。「この日本人性、市民性という共通性を我々も忘れてはならない」と説いた。

ケベリック、味噌、味の素のステッキもその象徴である。ただしサッカー日本代表とブラジル代表が対戦すればブラジルを応援するが、また「マスクをする習慣は、もともと日本のものであった。ブラジルにはなかった。コロナ対策として、今ではブラジルでも一般的になった。日系ブラジルの文化は、ブラジルの文化だけでなく、日本的なところもある。原田清論文コンクールで優勝した二つ

の論文のテーマをベースにして、このシンポジウムは進められると高らかに開会を宣言した。

全伯の日本移民史を概観

文協福祉担当理事・吉岡黎明氏「地方の移民史」に関して話し始めた。「日本人移民や黒人の導入に関しては、戦前、賛否両論があった。聖州政府はリスクを冒して日本移民をコヒー農場に導入した。その20年前に黒人解放令によって、労働力が足りなくなっていたから、導入された日本移民は鉄の使い手、コヒー豆の収穫の仕方、ボ語、食べ物もまったく分からなかった。奴隷小屋に住まされ、困難の連続だった。言葉の不自由さは、とくに特記される。多くの場合、夜逃げの原因となった」と

1910年、1912年頃に後継が送られ、同じことが繰り返された。吉岡氏は「リベロン・プレット、フランカなどモジアナ地方では1年間の契約期間を終えた後、日本移民は州内各地に広まっていった。とくに鉄道工事の延長線が先へ先へと入っていた。ノロエステ、ソカバナ、モジアナ、アララ

クアレレンセなどの鉄道線にそって、日本移民はどんどん入って来て生産、野菜生産を始めた。日本政府はイグアッペに土地を取得し、1912年には日本移民を受け入れ始めたことも特記される。ここで米の生産も始まっている。カフエランジア、プロミットソン、ピリグイなど広がっていた。アリアンサ移住地、チエ移住地など大規模なコロニアも作られ始めた」との概要を述べた。

さらに「アウタ・パウリスター地方では、ポンベイヤに、後にJACTOを創立する西村俊治さんが入植した。ソカバナ線では、アルバレス・マッシュヤドなども有名だ。戦前戦中は綿の生産が有名になった。コヒー国際価格が下落してサンパウロ州では生産が禁止されるにいたり、禁止されなかったパナナ州に多くが移っていった」と大きな流れを説明した。

アリアンサ移住地出身の吉岡氏は「私は個人的に、ノロエステ線をよく知っている。パウリ州からポリビアマまでつないでいた。この地域だけで、野球のチームは200もあった。日本移民特有のスポーツだった。パナナ州入植はカンパリアから始まり、アサイに大きな移住地が作られ、マリナガなどもどんどん入っていった。そこで育った子孫が教育のために州都クリチバに引っ越していった。ペルト、ポリビアからも日本移民が鉄道工事の仕事を求めてやってきた。カンポ・グランデなどはとくに沖繩移民が多かった。

北部では1928年頃から、パラ州トメアスにめくられ、日本人に対する悪印象が裏返されて、現在になっている。これらが起きてしまった主な原因は、ブラジル政府が、邦字紙廃刊をしたために正しい情報が入らない状況に陥ったことにある。この時代の特に大きな汚点は、トメアスに極端な移民を集めた強制収容所をつくったことだ。米国と同じようなものだ。アマゾンナス州政府はそれに対して謝罪もした。そのような日本移民史の多くは、80年代まで書かれていたが、その時代にまで書けなかったことがあった。

二世は戦後、大学に入って、医学、工学、法学などで活躍を始めた。当時、医学部に入るには日系人を殺せと言われたほどだった。二世たちは社会上昇を始めてブラジル全国で積極的な存在を示し始めた。3権において、その一人は、上田判事だ。日系で最も上の役職となった。

あと陸軍でいらないのは大将だけだ。最もエリートがあつたと言われる海軍でも将校が生まれた。外交官、大学では300人の教授、200人の司法関係者、小説家、大学幹部など出ている。そんな現在を、私は「移住統合第4期」と呼んでいる。

今の日系社会は、ブラジル社会の一部である。イタリア系、ドイツ系と同じだ。日本移民100周年をブラジル社会全体が祝ってくれたとは特記すべきだ。上田判事は「ブラジルの一部を孤立したモノではなく、あつた。代に日系文化が伝えられている。今はそのような最後の統合段階にあり、孤立したエスニック集団はすでにない。ブラジルの統合性を補強するものだ」と戦中戦後史を中心に述べた。



サントス港で移民船から降りるところ『在伯同胞活動実況写真帳』(高知県の竹下写真館、1938年)



トマト栽培の様子『在伯同胞活動実況写真帳』(高知県の竹下写真館、1938年)

し、42年8月に正式に連合国側に立って戦い始めた。その間、邦字紙強制廃刊、日本語を公衆の場で話すこと禁止、サントス強制立ち退きなどが続々と起きた。勝ち組負け組抗争が起きた時、コロナの大半は勝ち組であった。特攻隊が形成され、23人の被害が実行された。1460件の刑事訴訟が起され、ドウトラ大統領はこれらの勝ち組団体幹部の国外追放令を出した。ジュゼリーノ・クビチエスキ大統領はそれに対しアネスチア(恩赦)を出した。

この勝ち負け抗争は、すべての日系団体を統合した1955年の文協創立まで続いた。その後、ページがめくられ、日本人に対する悪印象が裏返されて、現在になっている。これらが起きてしまった主な原因は、ブラジル政府が、邦字紙廃刊をしたために正しい情報が入らない状況に陥ったことにある。この時代の特に大きな汚点は、トメアスに極端な移民を集めた強制収容所をつくったことだ。米国と同じようなものだ。アマゾンナス州政府はそれに対して謝罪もした。そのような日本移民史の多くは、80年代まで書かれていたが、その時代にまで書けなかったことがあった。

二世は戦後、大学に入って、医学、工学、法学などで活躍を始めた。当時、医学部に入るには日系人を殺せと言われたほどだった。二世たちは社会上昇を始めてブラジル全国で積極的な存在を示し始めた。3権において、その一人は、上田判事だ。日系で最も上の役職となった。

あと陸軍でいらないのは大将だけだ。最もエリートがあつたと言われる海軍でも将校が生まれた。外交官、大学では300人の教授、200人の司法関係者、小説家、大学幹部など出ている。そんな現在を、私は「移住統合第4期」と呼んでいる。

今の日系社会は、ブラジル社会の一部である。イタリア系、ドイツ系と同じだ。日本移民100周年をブラジル社会全体が祝ってくれたとは特記すべきだ。上田判事は「ブラジルの一部を孤立したモノではなく、あつた。代に日系文化が伝えられている。今はそのような最後の統合段階にあり、孤立したエスニック集団はすでにない。ブラジルの統合性を補強するものだ」と戦中戦後史を中心に述べた。

政府の情報統制が生んだ勝ち負け抗争

続いて、原田清氏も戦中戦後史の説明をした。「戦争前後に日本移民がペリゴ・アマレロ(黄色い危険人物)と呼ばれた時代があった。タクウチ・ユミの著書からそれを紹介したい。1941年3月、連邦政府は枢軸国側移民の資産凍結令を出した。42年8月に正式に連合国側に立って戦い始めた。その間、邦字紙強制廃刊、日本語を公衆の場で話すこと禁止、サントス強制立ち退きなどが続々と起きた。勝ち組負け組抗争が起きた時、コロナの大半は勝ち組であった。特攻隊が形成され、23人の被害が実行された。1460件の刑事訴訟が起され、ドウトラ大統領はこれらの勝ち組団体幹部の国外追放令を出した。ジュゼリーノ・クビチエスキ大統領はそれに対しアネスチア(恩赦)を出した。



モデラール(司会)の原田清氏

